

年間第20主日円山教会集会祭儀 ヨハネ6章51節-58節

わたしは、天から下って来た生けるパンです。だれでもこのパンを食べるなら、永遠に生きます。またわたしが与えようとするパンは、世のいのちのための、わたしの肉です。」すると、ユダヤ人たちは、「この人は、どのようにしてその肉を私たちに与えて食べさせることができるのか」と言って互いに議論し合った。イエスは彼らに言われた。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。人の子の肉を食べ、またその血を飲まなければ、あなたがたのうちに、いのちはありません。わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、永遠のいのちを持っています。わたしは終わりの日にその人をよみがえらせます。わたしの肉はまことの食物、わたしの血はまことの飲み物だからです。わたしの肉を食べ、わたしの血を飲む者は、わたしのうちにとどまり、わたしも彼のうちにとどまります。生ける父がわたしを遣わし、わたしが父によって生きているように、わたしを食べる者も、わたしによって生きるのです。これは天から下って来たパンです。あなたがたの父祖たちが食べて死んだようなものではありません。このパンを食べる者は永遠に生きます。」

おはようございます。3分間の聖書の分かち合いの奉仕をさせていただく札幌聖心のチャプレン、聖心会の田口でございます。

この夏、オーストラリアとニュージーランドの聖心姉妹校の先生やシスターたちに黙想会をするようにと言われ、日本人の自分がする講話が、自国や欧米の講師ばかりを体験しているあちらの先生たちに受け入れられるか、またあちらの管区は、自分より年上の徳の高いシスターたちが殆どなのに、こんな私が黙想指導などできるのか、身の程知らずではないのかと思いつつも、準備をして出かけました。ところが、とても温かい雰囲気の中で、聖霊のお助けもあり、皆さんに喜んでいただき、感謝のうちに終わることができました。昨年からの円山教会で分かち合わせていただいたことが、助けになったこともあり、皆様の存在を感じました。ありがとうございます。そして分かち合うことで生まれる力をあらためて感じました。

神の姿は目に見えません。しかし、人が分かち合う時、そこに神の姿が現れます。ご聖体に捧げられた札幌聖心では、生徒たちは入学まもなく、「世界の食糧分配」のシミュレーションをして、一緒に分かち合って食べる美味しさを味わい、ご聖体とは「分かち合うことでひとつになるように」という願いに基づいていることを実感します。

パンの奇跡では大勢の群衆が食事を分かち合います。そして、パンの奇跡から始まるヨハネ6章の最後に語られる今日の福音のイエス様のお話は、そのまま受け取ると、なんだかもすごい話に聞こえます。しかし、このようなたとえで語るしかないほど、イエス様は想いを届けようと必死だったのかもしれませんが。それは私たちが、想いを込めた手紙や贈り物を、相手に届けようと一生懸命になる時にも似ているかもしれません。

ヨハネ福音書の1章に「言葉は肉となって、わたしたちの間に宿られた」そして「神を見た者はまだひとりもない。ただ父のふところにいるひとり子なる神だけが、神をあらわしたのである。」とあります。「肉」となったということは人間となって、目に見えない神の姿を見る形であらわしたと考えると、「肉」という言葉は、イエスの生き方、かかわり方、人間性、命

を懸けて伝えたメッセージを表すのではないのでしょうか。また、「血」は申命記では「いのちである」(12:23)といわれています。

父なる神様は、イエスを私たちに送って、その人間性、生き方、かかわり方、メッセージ、そのいのちそのものを私たちに分かち合いたい、届けたいという強い願いを持っておられます。だからこそ、イエスは、このようなたとえで話されたのでしょう。しかし、届くことのない、あるいは受け取られない手紙や贈り物が無駄になるように、その必死の想いは、ふだんの私たちにはなかなか届きません。

ある時私は、ひとつのことに關して嫌悪感を克服できず、そんな自分に嫌気がさして、悶々としていた時がありました。眠れぬ夜にふと気づくと、イエスはその命を懸けて伝えたメッセージが心に吹き込まれるのを感じ、嵐はおさまりました。

私たちが、イエスの人間性からはるか遠いところにいると気づく時こそ、イエスが、私たちにそのいのちを届けてくださる時です。気づきを大切に、ちまちました私たちの想いをはるかに超えた愛にあふれるイエスのいのちを受けましょう。その時、天では大いなる喜びがあるでしょう。ありがとうございました。

Xác thịt của Chúa Giê-xu tượng trưng cho nhân tính của Ngài, và huyết của Ngài tượng trưng cho sự sống của Ngài. Chúng ta hãy nhận ra Chúa Giêsu, Đấng ban cho chúng ta sự sống của Ngài. Cảm ơn bạn.